



2022年9月22日

株式会社 阿波銀行

有限会社神山鉄工所の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、有限会社神山鉄工所（代表取締役 上古見 英典、本社：徳島県名西郡）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	有限会社神山鉄工所
所在地	徳島県名西郡神山町下分字地野 29 番地 1
代表者	上古見 英典
業種	鉄骨・鉄筋工事業
設立	1999 年 1 月 4 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年9月22日



有限会社神山鉄工所 代表取締役 上古見 英典

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	省エネ・温室効果ガスの排出削減	CO2排出抑制のために、エネルギー使用量の把握に努め、さらなる省エネ・節電を推進します。	① 鋼材研削時のエネルギー使用量の把握・削減	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	13 気候変動に具体的な対策を
			② (1)2025年までに電力・温室効果ガスの使用量把握 (2)2030年までに電力・温室効果ガスの使用量10%削減	12 つくる責任 つかう責任	
社会・経済	地域活性化・産業振興	持続可能な地域のため、地域の社会的・経済的な活性化の取組みを行います。	① Hグレードの鉄骨の製造販売により、地域の耐震化建物の普及に貢献	11 住み続けられるまちづくりを	
			② 2023年までにHグレード認定の新工場稼働	17 パートナシップで目標を達成しよう	
環境	ゴミ・廃棄物削減	未来の地球環境を守るため、自社で排出す廃棄物の削減やリサイクル等の活動に努めます。	① 3D CADを活用し、鉄骨加工のデータ化推進	8 働きがいも経済成長も	11 住み続けられるまちづくりを
			② 2030年までに紙図面の使用量10%削減(2022年比)	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	12 つくる責任 つかう責任
社会・経済	地元人材の活用	雇用を通じた地域振興のため様々な地元人材の活用を推進します。	① 地元人材の積極的な採用	8 働きがいも経済成長も	
			② 2024年までに新規雇用2名、以後継続的に採用実施	11 住み続けられるまちづくりを	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。